

1 令和元年度の取組み成果と推進上の課題

事業実績(見込み)からみた成果

【成果】

- 借受希望者が1,530経営体(個人1,157、法人373)となり、一定の受け手を確保。
- 機構からの貸付け実績は、述べ7,406ha、令和元年度は751ha。
- 中山間地域での担い手育成(法人化)による事業の活用促進(H28~30、12法人、194ha、R元、3法人、29ha)。
- 機構、農地利用最適化推進員等と連携したモデル活動を15地区で実施。
- 理事長と農業委員会長等との意見交換会の開催(H30:12、R元:14)。

推進上の課題

【推進体制】

- 農業委員会組織との連携活動の強化
- 地域でのコーディネート活動の強化

【推進活動】

- 人・農地プランの実質化に向けた地域での話し合いの強化
- 農業委員会組織と連携した地域の推進体制強化
- 新規就農者、担い手の確保
- 中山間地域、樹園地での担い手の確保
- 担い手の経営安定化
- 関係機関との連携強化

【制度見直し等】

- 人農地プランを核とした関係機関の連携強化
- 円滑化事業との統合一体化による借受け促進
- 制度見直しの周知と事業活用の促進



対応方針

- ・農業委員会組織等とのモデル活動の継続
- ・農地専門員の活動強化
- ・中山間地、樹園地での重点活動の推進
- ・圃場整備事業を活用した圃場条件改善
- ・関係機関と連携した制度周知、運用
- ・関係機関との連携強化による事業推進

2 令和2年度の推進方針(案)

① 推進体制の強化

○「ぎふアグリチャレンジ支援センター」による、担い手の確保から農地集積の一体的な支援

- ・就農支援、農業法人の育成・経営強化、企業参入・農福連携の推進、農地中間管理事業等の推進
- ・新規就農に向け機構事業の活用促進(就農アドバイザーとの連携)
- ・農業経営者サポート事業による法人化、農業経営支援
- ・関係機関と連携して企業参入等への情報提供などマッチングの推進

○農業委員会組織との連携強化

- ・機構駐在員による地域でのコーディネート活動(モデル活動)の継続
- ・「新新・ぎふ農業委員会活性化大作戦(仮称)」等との連携による農地利用の最適化の推進
- ・「農地利用の最適化推進活動がい」を利用した推進員活動の活性化とフォローアップ
- ・農業委員の改選に対応する機構事業等の現地活動の推進

○人・農地プランの実質化に向けた支援強化

- ・地域の話し合い(人・農地プランの実質化)による担い手への農地集積の推進
- ・地域でのチーム活動による担い手育成と農地集積の一体的な推進
- ・機構駐在員と農地利用最適化推進員等との連携によるコーディネート活動の実施(前掲)

○県土地改良事業団体連合会との連携強化

- ・基盤整備地区の掘り起こしや事業化に向けた活動促進
- ・基盤整備事業を活用した圃場条件の改善と農地集積の推進
- ・多面的機能支払交付金を活用した地域共同活動の取組み支援

○理事長、センター長による地域に足を運んだ推進活動の実施

- ・地域農業委員会の改選に対応した、事業活用について意見交換

② 啓発活動の強化、事業運用の改善

- 市町村、JA等連携した広報活動
- 機構事業の仕組み改善、制度変更、新たに活用可能な市町村への周知
 - ・機構事業のエリア拡大に伴い事業活用が可能となる2町(1町はモデル地区を設置予定)での周知と推進
 - ・担当者会議等による周知

③ 地域の話し合いに基づく推進活動の強化

- 重点推進地域を設置した推進活動
 - ・担い手育成重点推進地域での集落営農の組織化、農地集積に向けた取組み強化
 - ・機構、農業委員会組織等と連携したモデル地区でのコーディネート活動(16地区)
 - ・果樹産地協議会(柿・栗)、茶振興会と連携した担い手確保と機構事業の活用
- 市町村担当地区制によるネットワーク機構・機構による伴走方支援の強化
- 人・農地プランの実質化に向けた支援強化(前掲)
- 新規就農者や集落営農組織・法人の育成、経営強化の支援(前掲)
- 優良取組事例の収集及び横展開の実施

④ 中山間地域におけるマッチング推進

- 中山間地域での担い手育成の取組み支援
 - ・集落営農の組織化・法人化、農地集積に向けた地域での話し合いの推進(前掲)
 - ・担い手育成重点推進地域での担い手に対する機械等整備、経営支援
- 企業参入など地域外の担い手の発掘
 - ・ぎふアグリチャレンジ支援センターによる関係機関と連携したマッチングの推進(前掲)
- モデル地域でのコーディネート活動の継続(前掲)
- 人・農地プランの実質化に向けた支援強化(前掲)
- 基盤整備事業を活用した圃場条件の改善による農地集積の推進(前掲)